

あほんだら

艾岡ゆ友衛



とどけ石炭守れの声

存亡の危機訴え、連続して諸行動起こす



炭労中央行動(8月7日)通産省前の座り込み(写真)。通産省、石炭協会との交渉、都内宣伝、ビラ配布などを行なった。

石炭つぶし許さぬ

なぜ経済性だけなのか

第八次石炭政策の答申が間もなく出されるという情勢を前にして、この行動に三池から参加したのが展開されています。

七月二十八日と二十九日の二日間、石炭協会の主催で千人が参加して「第八次石炭政策確立中央決起集会」が開かれ、集会とともに、都内の主要な駅前ビルを配布し、山を取り囲まれたりしているヤマも深通産省前で座り込みをおこなうとともに、通産省、石炭協会の要請行動、さらにキャンペーンを「経済性だけの石炭つぶしは許さぬ」と語っていました。



キャラバン隊を迎えて8月1日、大牟田市役所前での歓迎集会では黒田市長も「共に頑張ろう」とあいさつ。(写真は決意をのべる内田高島労組組織部長)

世論をまき起こそう

資源守つてこそ政策

八月一日、「国内炭と産炭地域を守る」と九州と北海道から全国縦断キャラバン隊が出発。九州は高島と三池のニュースカーが炎天下の中を七日間の日程で東京へ。長崎では、県庁を訪れて緊急要望書を提出、大牟田では午後五時から市役所前で「歓迎集会」を開きました。キャラバン隊は、二日は、芳川組織部長、堀和彦さん、朝大牟田を出発、山口、広島、大島、名古屋などで自治体、県評などにて要請行動。リーフを配って

八月一日、「国内炭と産炭地域を守る」と九州と北海道から全国縦断キャラバン隊が出発。九州は高島と三池のニュースカーが炎天下の中を七日間の日程で東京へ。長崎では、県庁を訪れて緊急要望書を提出、大牟田では午後五時から市役所前で「歓迎集会」を開きました。キャラバン隊は、二日は、芳川組織部長、堀和彦さん、朝大牟田を出発、山口、広島、大島、名古屋などで自治体、県評などにて要請行動。リーフを配って

世界の原水禁運動のあゆみ

1945.8

一九四五年八月六日九日、アメリカの投下した原子爆弾は広島と長崎を瞬時に死の街に変えました。死者三十三万人、そして今なお四十万の傷者が、原爆の苦しみを抱いて生き続けています。

1950
ストックホルム
ストックホルム
ストックホルム

一九五〇年、平和擁護「原子兵器禁止」の署名(ストックホルムアピール)は、世界で五億人に達しました。

1955
原水禁世界大会
二七二の怒りは、第一回原水禁世界大会(広島)へと発展しました。

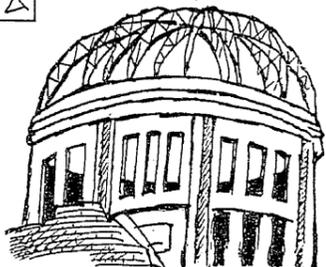


1954.3.1 第五福竜丸

アメリカのビキニ水爆実験で静岡県の第五福竜丸が灰を浴び、全員被爆。同年9月無縁長久保山さんが死亡しました。

1978.1982

一九七八、一九八二年、国連軍縮特別委員会(SAND)は、二〇〇万人のヨークで、大衆会が開かれ、その後世界の反核運動が大きくなりました。



1986
フィリピン
アキノ政権下新憲法に非核条項を盛り込み、非核フィリピンをめざしています。

1986
ニュージーランド
非核化法案が国会に提出され現在審議中

1986
ゴルバチョフ提
三宅島
今年一月、ゴルバチョフ連共産党書記長は世界の核兵器を今世紀中に廃絶する具体的提案を行いました。

1986
非核自治体
日本国内では、三宅島軍機関連訓練基地化反対、池子薬業跡地米軍住宅建設反対、沖縄反戦地主のたたかいがひろがっています。

1986
非核自治体
自治体は、全国3,300余の自治体のうち920以上、全人口の52%に達しています。



反核運動は、ヨーロッパ、アメリカなど世界各国に広がっています。